

Googleタグマネージャーの設定

LINE対応Web予約の管理画面から行うGTMの設定について

更新日: 2022/1/27

トリガー

Googleタグマネージャーからトリガーの設定を行います

トリガー

本製品の連携に必要なトリガーを設定します。

すべて設定する必要はなく、ニーズに合わせて取捨選択できます。

以下の画面では全ての設定を行っています。

The screenshot shows a user interface for configuring triggers. On the left, a sidebar lists navigation options: 'Default Workspace', 'サマリー', 'タグ', 'トリガー' (highlighted), and '変数'. The main area is titled 'トリガー' and contains a table of configured triggers. A search icon and a '新規' button are in the top right. The table has columns for checkboxes, names, event types, filters, tags, and last update dates.

<input type="checkbox"/>	名前 ↑	イベントタイプ	フィルタ	タグ	最終更新日
<input type="checkbox"/>	カスタム イベント reservation-cancel	カスタム イベント		2	3ヶ月前
<input type="checkbox"/>	カスタム イベント reservation-make	カスタム イベント		2	3ヶ月前
<input type="checkbox"/>	履歴の変更	履歴の変更		1	3ヶ月前

予約完了イベント

予約が確定したときに発行されるイベントです。

× カスタム イベント reservation-make

トリガーの設定

トリガーのタイプ

 カスタム イベント 

イベント名

reservation-make 正規表現一致を使用

このトリガーの発生場所

すべてのカスタム イベント 一部のカスタム イベント

予約キャンセルイベント

予約がキャンセルされたときに発行されるイベントです。

× カスタム イベント reservation-cancel

トリガーの設定

トリガーのタイプ



カスタム イベント



イベント名

reservation-cancel



正規表現一致を使用

このトリガーの発生場所



すべてのカスタム イベント



一部のカスタム イベント

履歴の変更

ユーザ操作（画面遷移）を取得したい場合は、以下のトリガーを作成してください。

× 履歴の変更 □ 保存

トリガーの設定

トリガーのタイプ

🕒 履歴の変更 ✎

このトリガーの発生場所

すべての履歴の変更 一部の履歴の変更

本製品独自のイベント

本製品が提供するイベントとその変数は以下の通りです（2022年1月現在）。

最新の情報は「LINE対応Web予約管理画面＞外部連携サービス」をご確認ください。

予約完了イベント(reservation-make)

```
{  
  event: "reservation-make",  
  reservation-id: 予約ID,  
  reservation-shop-id: 店舗ID,  
  reservation-shop-name: 店舗名,  
  reservation-ss-shop-id: サロンズソリューション店舗ID,  
  reservation-datetime: 予約日時  
}
```

予約キャンセルイベント(reservation-cancel)

```
{  
  event: "reservation-cancel",  
  reservation-id: 予約ID,  
  reservation-shop-id: 店舗ID,  
  reservation-shop-name: 店舗名,  
  reservation-ss-shop-id: サロンズソリューション店舗ID,  
  reservation-datetime: 予約日時  
}
```

変数

Googleタグマネージャーから変数の設定を行います

変数にデータレイヤーの変数を登録する

使いたい変数だけでOKです。新規ボタンを押して作成しましょう。

現在のワークスペース

Default Workspace >

- サマリー
- タグ
- トリガー
- 変数**
- フォルダ
- テンプレート

組み込み変数 ②

名前 ↑	タイプ
Page Hostname	URL
Page Path	URL
Page URL	URL
Referrer	HTTP 参照

ユーザー定義変数

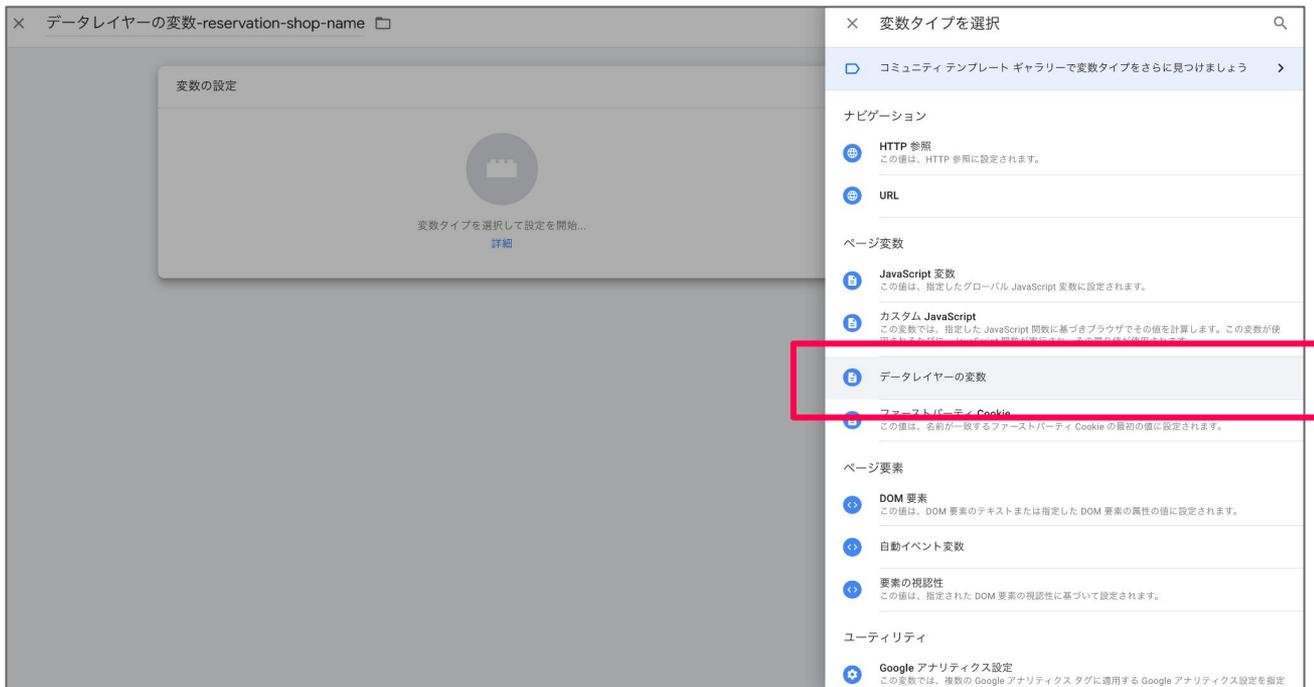
<input type="checkbox"/> 名前 ↑	タイプ	最終更新日
<input type="checkbox"/> データレイヤーの変数-reservation-id	データレイヤーの変数	3ヶ月前

設定

新規

変数のタイプ

データレイヤーの変数を選択



変数の設定

データレイヤーの変数名に、利用したい変数の名前を記入してください。

発行するイベントを通じて利用できる変数の名前は本製品独自のイベントをご確認ください。

× データレイヤーの変数-reservation-shop-name

変数の設定

変数のタイプ

データレイヤーの変数

データレイヤーの変数名 ⓘ

reservation-shop-name

データレイヤーのバージョン

バージョン 2

デフォルト値を設定

> 値の形式 ⓘ

タグ

いよいよタグの設定です。あと少しです！

タグを登録する

Googleアナリティクスなどのサービスや、独自のカスタムタグを登録することができます。

現在のワークスペース
Default Workspace >

- サマリー
- タグ**
- トリガー
- 変数
- フォルダ
- テンプレート

名前 ↑	タイプ	配信トリガー	最終更新
<input type="checkbox"/> cancel the reservation	カスタム HTML	カスタム イベント reservation-cancel	3日前
<input type="checkbox"/> GA4 イベント reservation_cancel	Google アナリティクス: GA4 イベント	カスタム イベント reservation-cancel	3ヶ月前
<input type="checkbox"/> GA4 イベント reservation_make	Google アナリティクス: GA4 イベント	カスタム イベント reservation-make	1ヶ月前
<input type="checkbox"/> Google アナリティクス GA4 設定	Google アナリティクス: GA4 設定	Initialization - All Pages 履歴の変更	3ヶ月前
<input type="checkbox"/> made a reservation	カスタム HTML	カスタム イベント reservation-make	3日前

カスタムタグの設定例

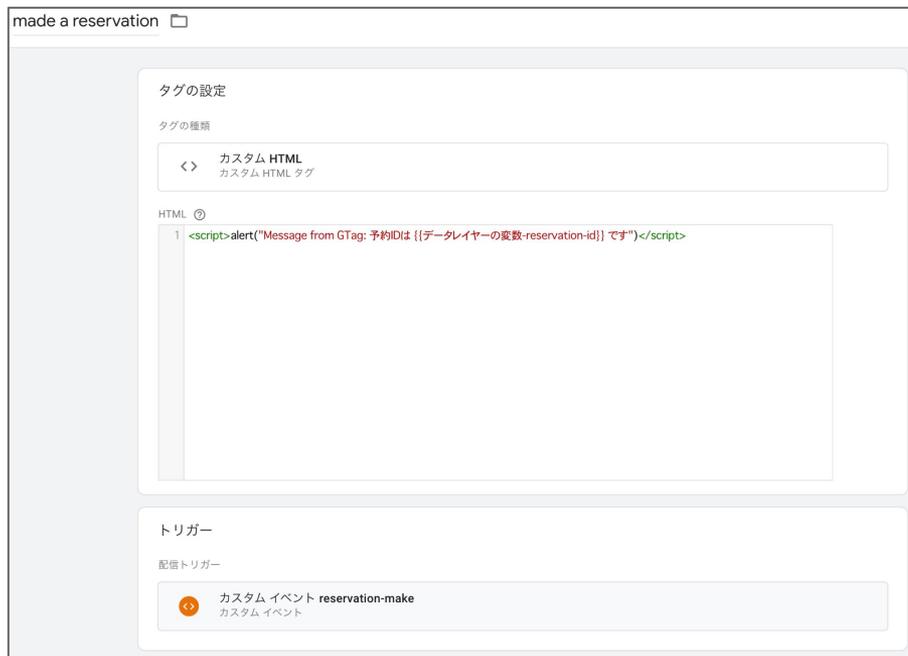
自社やサードパーティが提供する独自タグに連携してみましょう。

サードパーティが提供するタグを設定する場合は、まず提供元にGoogleタグマネージャでの設定方法をご確認いただくことをおすすめします。

独自のタグに連携する場合は、タグの種類を「カスタムHTML」にし、HTMLの欄にタグを設置してください。タグに[変数](#)を渡すには右の画像にあるように、`{{GTM上の変数名}}`と記述します。

最後に「タグを実行したいタイミング」をトリガーに設定して完了です。

画像では予約完了時にカスタムタグを実行する設定になっています。



Google アナリティクス 4 の設定例1

ページ遷移をGA4に連携したい

タグの種類を「Googleアナリティクス: GA4設定」にし、測定IDを設定してください。

トリガーには「Initialization - All Pages」と「[履歴の変更](#)」を登録してください。



Googleアナリティクス4の設定例2

本製品独自イベントをGA4で計測したい

以下のように設定します。イベントパラメータは用途に合わせて必要なものを選択してください。

次のページで詳しくみていきます。

GA4 イベント reservation_make

タグの設定

タグの種類

Google アナリティクス: GA4 イベント
Google マーケティング プラットフォーム

設定タグ ①
Google アナリティクス GA4 設定

イベント名 ②
reservation_make

イベント パラメータ

パラメータ名	値
reservation_id	{{データレイヤーの変数:reservation-id}}

トリガー

配信トリガー

カスタム イベント reservation-make
カスタム イベント

GA4 イベント reservation_cancel

タグの設定

タグの種類

Google アナリティクス: GA4 イベント
Google マーケティング プラットフォーム

設定タグ ①
Google アナリティクス GA4 設定

イベント名 ②
reservation_cancel

イベント パラメータ

パラメータ名	値
reservation_id	{{データレイヤーの変数:reservation-id}}
app-event	reservation_cancel

トリガー

配信トリガー

カスタム イベント reservation-cancel
カスタム イベント

Googleアナリティクス4の設定例2

イベントパラメータを設定しましょう。以下では、すでに予約IDが登録済みですが、ここに店舗名を追加してみます。

The image shows a two-step process for configuring event parameters in Google Analytics 4. The top panel shows a table with one row: reservation_id with the value {{データレイヤーの変数-reservation-id}}. A red box highlights the selection icon for the value field. An arrow points to a modal window titled '変数を選択' (Select Variable) which lists several variables, including 'データレイヤーの変数-reservation-id' and 'データレイヤーの変数-reservation-shop-name'. A second arrow points from this modal back to the parameter table, where the second row has been added: reservation_shop_name with the value {{データレイヤーの変数-reservation-shop-name}}. The bottom panel shows the completed configuration with two rows in the table.

パラメータ名	値
reservation_id	{{データレイヤーの変数-reservation-id}}
reservation_shop_name	{{データレイヤーの変数-reservation-shop-name}}

パラメータ名は自由ですが「-」は文字化けすることがあるため避け、「_」を代わりに使うとことをオススメします。

お困りの場合

サポートサイトをご活用いただき、ご不明点ございましたらお気軽にご連絡ください。

▪ お問い合わせ

メール support@willdo.co.jp

お電話 フリーダイヤル 0120-36-7136 （携帯電話から 0596-31-0005）

LINE [お友達追加](#)

▪ Q&A (<https://www.salons.jp/pages/874417/faq>)

ソフトの利用に関するよくある質問、便利にお使いいただくためのヒントがつまっています。

▪ ご意見箱

サービス向上のため、製品についてのご意見・ご要望、お客様の声を広く募集しております。
お気軽にご意見をお寄せください。

お問い合わせ



LINE



ご意見箱

